

SAVE the CINEMA 呼びかけ人・賛同者のみなさま

新型コロナウイルスの収束の目処も立たぬまま、怒涛の2020年が終わろうとしています。みなさまにおかれましても、様々なご苦労が続いた一年であったことと思います。

緊急事態宣言が発令される前日の4月6日に慌ただしくスタートしたSAVE the CINEMAの署名活動でしたが、みなさまのご協力により最終的に91,659筆の署名が集まり、「ミニシアターを救いたい」という私たちの声を政府に送り届けることができました。

国会において初めて「ミニシアター」という名詞が飛び交い、第2次補正予算において560億円の「文化芸術活動の継続支援事業」が計上され、ミニシアターもその支援対象であると認められた時、私たちは声を上げることの大切さを実感しました。そして何よりも、これほどの人たちがミニシアターを必要としているということが初めて可視化されたことは、窮地にある現場の人々を勇気づけるものでした。

呼びかけ人としてご尽力いただいたみなさま、賛同者として名を連ねていただいたみなさまに改めて厚く御礼申し上げます。

私たちの力不足により、ご期待に添えなかった点多々ありますが、みなさまにご協力いただいた「要望書」に基づく政府への要請行動は2020年を一つの区切りとして終了し、次なる課題へ取り組んでゆきたいと思います。（*活動の詳細はSAVE the CINEMAホームページ「活動報告」でご確認いただけます。また「映画芸術」誌473号他にレポートを掲載しました）

現在、SAVE the CINEMAは、第3次補正予算において計画されている370億円の文化・芸術支援策がより良い制度となるように関係機関との交渉を進めております。また、将来的に恒常的なミニシアターのセーフティネットや支援制度の確立を目指して活動を続けてゆく所存です。

今後、またご協力をお願いすることもあるかと思いますが、その際はどうぞよろしくお願い申し上げます。

先の見えない状況ではありますが、みなさまにとって2021年が良い年となりますよう心からお祈りいたします。

2020年12月28日

SAVE the CINEMA 一同